

科学捜査を体験

杉並区立社会教育センターでは、科学の楽しさや奥深さを知ってもらおうと、セシオン杉並で「科学捜査展」を開催しています。展示は、実際の犯罪捜査でも活用されている科学技術で、春休みの期間にも重なり、小学生や親子連れでにぎわっていました。展示は、29日までで入場は無料です。

最近、「子どもの理科離れ」が進んでいることが問題視されています。現代社会には、テレビゲームやインターネットなどの科学技術が発達し、こうした技術を使って安易に情報が得られることで、自ら研究し創造しようとする子供が減っているということです。こうした中、杉並区では科学が持つ楽しさや不思議、奥深さなどを知ってもらい、多くの子供に科学への興味を持ってもらおうと取り組んでいます。

こうした取り組みの一つが科学展示で、毎年春休みと夏休みに開催し、小学生や親子連れが気軽に楽しめるようになっていきます。

現在、セシオン杉並で開催中の「科学捜査展」では、実際に警察が捜査に利用している技術の紹介展示や、犯罪捜査の体験コーナーを楽しむことができます。犯罪捜査体験は、タブレット



を活用してさまざまな証拠を採取し、それを分析することで犯人を割り出していくゲーム仕立てになっています。制限時間20分の中で、「丸の内3丁目空き巣事件」の犯人を捜す指令を受け、まずはドアノブの指紋を採取、そのほかに床に落ちていた髪の毛や猫の毛などを集めます。そして、空き巣は玄関の鍵を開けて犯行が行われたことで、この家の関係者から事情聴取を行います。そして、関係者からは、指紋や筆跡、DNAの提供を受け、証拠として採取されたものと照合を行います。さて、制限時間が迫る中、犯人まで辿り着くことはできるのかハラハラドキドキです。この犯罪捜査の体験は、小学生だけでなく、大人でも十分に楽しめる内容です。29日までの開催で、入場も体験も無料ですので、ぜひ会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。

【問い合わせ先】

社会教育センター：電話 03-3317-6621